

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1039
2025.4.13

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください

発行

松村としお
久保みき
金子あきよ

とばめぐみ
たけこし連
池田めぐみ

国保税の

2月議会・本会議討論

9年連続値上げに反対

3月13日、2月議会最終本会議がおこなわれ、党市議団を代表して久保みき市議が議案と請願について討論に立ちました。

今議会には、国保税の値上げの議案と市民から値上げ中止を求める請願が出されています。さいたま市は2017年に国保税の限度額の引き上げをおこない、それを含めると新年度で9年連続の値上げとなります。値上げのたびに市民からは「値上げをしないでほしい」「国保税が高すぎてくらしていけない」という請願が出されてきました。久保市議は「市民からの声を、市が国保運営協議会に紹介することなく、値上げを決めてきたことは、極めて遺憾だ」と批判しました。

県単位化ということは、埼玉県内の市町村すべて同じ立場です。しかし、議案質疑でさいた

ま市同様に確実に毎年引き上げをおこなってきた自治体は他にはおそらく1市しかないということが明らかになりました。また、請願審査では、2027年に県税率での統一が予定されているなかでも、県内で10自治体が、新年度、値上げしない方針であることが明らかになりました。物価高騰のなかで市民の暮らしを考えたなら、値上げをしないのは至極当然のことです。

久保市議は「今、市民がどのような暮らし向きなのか、今現在の市民の暮らしを守っていくことこそが、市政としていちばん大切なことである」と主張し、国保税の値上げに反対しました。しかし、他会派の賛成で値上げが可決されました。

市民の暮らしに寄り添う予算を

続いて池田めぐみ市議が予算案に対する討論に立ちました。

池田市議は、「本予算は1兆1663億円という巨大予算だが、市民や事業者に寄り添う予算になっていない」と指摘しました。市民の平均給与所得は直近でおよそ425万円、10年前の367万円と比較して16%増加していますが、税負担もおよそ50万円、24%増加しています。

特に給与所得者のうち27.4%、16万人のボリュームゾーンで、平均給与所得はおよそ248万円という厳しい現実です。さらに65歳以上の市民の平均所得は173万円と、全体平均の半分以下になっています。

池田市議は、「市は、市民の生活実態を直視して、物価高騰や税負担の上昇に対し見合った支援をする必要があるが、新年度の『物価高騰対策の合計』は88億9000万円で、全体のたった0.8%。そのうち68億3000万円をしめる定額減税補足給付金不足分は、全額、国の予算。物価高騰対策と胸をはるデジタル地域通貨も大きな恩恵をうけているのは、大型店舗や、情報を知りえた一部の市民のみ」と批判しました。

一方で、新年度予算には、武蔵浦和義務教育学校建設整備事業が46億円計上されていますが、2月に、予定価格148億6100万円で募集した新校舎建設工事の入札は、参加業者がなかったことから、不調となったことが明らかになっています。建築資材の高騰や建設現場の人手不足で、手を挙げる業者が見つからない中、市民の理解が得られないまま、大規模な学校建設を進めていくことは、明らかに無理があります。

そのほか、浦和駅西口南高砂地区再開発や、市民会館うらわの建設、次世代型スポーツ施設、



北区のJCHO医療センター跡地に造る施設の事業費などの「大型事業」には、多額の予算が計上されているほか、今後、地下鉄7号線延伸も、1500億円を超えとの報告がありました。池田市議は「市民が本当に必要としているのは、くらし、福祉、子育て、教育、地域経済、災害対策などの拡充。党市議団では、『学校給食費無償化』や『水道料金の引き下げ』『おでかけ支援制度の創設』など予算の組み換えを提案したが、受益者負担などの観点から難しいとの答弁だった。市民は、税金を払っている。住民福祉の増進が行政の仕事。そのため、新年度予算案には、市民の立場にたって、反対する」と述べ、新年度予算案に反対しました。

■ 2025 年 2 月議会採決表 (○＝賛成、×＝反対) ※市長提出議案 90 件のうち 80 件に賛成 (89%)、10 件に反対 (11%)

	共産	立憲	公明	さいたま 自民	自民 市議団	維新	無所属 みらい
令和7年度さいたま市一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和7年度さいたま市国民健康保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和7年度さいたま市水道事業会計予算	×	○	○	○	○	○	○
令和7年度さいたま市病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度さいたま市下水道事業会計予算	×	○	○	○	○	○	○
さいたま市国民健康保険税条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○
2025年度の国保税値上げ中止を求める請願	○	×	×	×	×	×	×

2 月議会・予算委員会（保健福祉）

性感染症の検査が拡大

3 月 3 日、2 月議会の予算委員会（保健福祉委員会関連）がおこなわれ、とばめぐみ、松村としおの両市議が登壇しました。

とば市議は、性感染症である梅毒が 50 年ぶりに急拡大するなか、本市の梅毒対策を繰り返して求めてきました。2024 年 8 月と 10 月に梅毒の即日検査（結果がすぐ分かる）が実施され、新年度も予算が組まれました。あわせて求めてきた「出前講座」も「性感染症の基礎知識」として広報課と調整中です。包括的性教育につい

ても「感染症の所管課として教育分野のとりくみも支援していく」という答弁を得ました。

次に、民生委員がいない地域から「高齢者生活実態調査が来ない」という相談があったことを紹介し、民生委員定数 1469 人にたいし 88 地区で空白、8 地区で実態調査が未了であることを明らかにしました。とば市議は「戦前、地域の困窮者支援から始まった民生委員が、現在



は福祉分野のみならず、災害対策、消費者保護、交通事故予防や子育て、若者問題、高齢者に至るまでの協力が求められ負担が重過ぎる」と指摘。自治会でも民生委員の推薦に苦労している実態を紹介し、なり手不足解消のためにも、民生委員の役割を明確にし、本来の支援活動に集中できる環境整備を求めました。

公共施設で AED の増設を確認

松村市議は、党市議団が求め続けてきた AED の設置について、文化施設やコミュニティセンターなどに 25 台設置することを確認し、継続的に増やしていくことを求めました。

また 4 月 1 日オープンの「ゆーぱるひざこ（健康福祉センター東楽園）」について、館内利

用に関する市民からの懸念の声をよく聞き、改善を図るべきだと指摘。市は「利用のルールは、毎年利用者にアンケート調査をおこない、随時見直しを加える」と答弁しました。老人クラブ育成支援で



は、下限人数を現在の会員数 30 人以上から、20 人以上に引き下げ、あらたに 11 クラブが補助対象となることや、補助金が増額しやすいよう、基準額を 30 人以上 40 人未満のクラブで引き上げ、45 人以上 99 人以下の人数の区分を細分化することを確認しました。

2 月議会・予算委員会（まちづくり）

浦和駅西口周辺の再開発予算ふくらむ

3 月 3 日、予算委員会（まちづくり委員会関連）がおこなわれ、金子あきよ、久保みきの両市議が登壇しました。

金子市議は、浦和駅西口南高砂地区再開発事業に支出する公的資金の総額について明らかにするよう求めました。浦和駅周辺まちづくり事務所長から「総事業費 708 億 7900 万円のうち補助金の合計が 281 億 5200 万円、市民会館が 166 億 7700 万円で合計 448 億 2900 万円」との答弁がありました。金子市議は物価高騰、労務単価の引上げの影響、事業費拡大の可能性について現時点での見通しがあるのか、質しました。所長は「組合からは物価高騰にともない事業費は増える見込みだと聞いている」

としたうえで、補助金は現在のところ増額する予定はないとしたものの、市民会館うらわの建設費については事業費が上がった分、工事費の支払いが増えるものと考えている、との見解を示しました。再開発で建設されている高層マンションは分譲価格 1 億～5 億円で販売され、売れ行き好調です。金子市議は「これ以上市の予算を再開発に支出する必要などないのではないか」と迫りました。

他に事業化される JR 環境空間整備の計画の内容、新設公園へのトイレ、時計の設置の基準等について質疑し、市民の要望に沿った緑地、公園の整備を求めました。



運賃助成制度の実証実験を実施せよ

久保市議は、昨年の 2 月議会においての当時の都市局長、交通政策課長の発言を示し、新年度から高齢者への運賃助成が実証実験されるはずであったと指摘。約束を反故にされたことは大変に遺憾であると強く抗議し、2026 年度から実証実験できるように、新年度、準備することを求めました。市は「運賃助成制度は多くの政令指定都市で採用されており、一定の効果があると認識している。引き続き検討していく」と答弁しました。

また、西区西大宮 4 丁目の近隣公園整備について、新年度予算の計上がないことは、市の本気度が問われる問題です。久保市議は「公園の完成が 10 年先と聞いている。この地域に公園ができるから、と引っ越してきた子育て世帯もいる。部分的にでも完成させて、利用できるようにすべき」と求め、市も前向きに答弁しました。



あなたの身近な市議会議員です



緑 区
松村としお



桜 区
久保 みき



南 区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ